ロ アーバンデザインセンターすみだ活動促進事業

アーバンデザインセンターすみだ
URBAN DESIGN CENTER SUMIDA

東京23区で唯一大学のなかった墨田区では、積年の悲願であった大学誘致が実現し、文花地区に２つの大学が開学・開設した。これを契機に、公民学連携のプラットフォーム「UDCすみだ」を設立し、将来ビジョンの検討や都市空間のデザインマネジメントのハード面、まちづくりの担い手育成等のソフト面、双方のアプローチから、大学の知見を活用した地域課題の解決を目指す「大学のあるまちづくり」を推進する。

■ 概　要

区市町村名	墨田区
まちづくり プロデューサー	アーバンデザインセンターすみだ（UDCすみだ）
行政の関わり	UDCすみだは、墨田区・千葉大学・iU 情報経営イノベーション専門職大学・区内関係団体で構成される公民学連携組織。墨田区が事務局を務め、「大学のあるまちづくり」を推進。
連携先	国立大学法人千葉大学 iU 情報経営イノベーション専門職大学
対象エリア	墨田区文花・京島地区（文花一丁目のキャンパスエリアを拠点）

■ 本年度の取組内容

・木密地域がかかえる公園の課題解決につながるよう、大学の知見を活用した遊具の開発や学生のデザインアイデアを取り入れたトイレの設置など、大学のあるまちすみだらしさを生かした公園のリニューアルオープンによって、地域のにぎわいを創出し、エリアリノベーションを推進。
・UDCすみだが進める「アカデミックハウスプロジェクト」の継続的な啓発活動を、事業等で実施
・その他機運醸成に要するイベント実施等

■ 本年度の成果

・UDCすみだ運営委員会（月１回）
⇒シンボルプロジェクトであるアカデミックハウスプロジェクトの進捗報告のほか、UDCすみだの啓発活動、大学の知見を活用した社会実験等について議論を行った。

・地域の交流の場「すみだサロン」の開催（年３回）
⇒エリアリノベーションを推進するUDCすみだが主体となり、地域の交流の場を設定。他地域で活躍するまちづくり家による講演を実施し、地域の課題解決につなげていった。

・地域全体に賑わいを生み出す公園の再整備
⇒エリアイノベーション推進のため、地域全体に賑わいを生み出すための遊具や学生のアイデアを取り入れたトイレの設置など、大学のあるまちづくりとエリアリノベーションの推進を備えた公園を区とともに連携し、地域内にリニューアルオープンした。